

／ 当社の情報は様々な媒体で発信しております。みなさま是非ご覧ください。 ／

#### 総合情報



#### Webサイト

会社概要や事業内容、CSR方針など、  
当社に関わる全ての情報と最新情報を更新しています。

公式Webサイト



#### CSR情報



#### Sustainable Report

CSR（企業の社会的責任）についての方針や計画、  
活動報告などをまとめたレポートです。



#### 環境・CSR情報



#### コラム

廃棄物やエネルギー、CSRやSDGsなど、環境・CSRに関する  
様々な情報を、Green propフィルターを通してコラムという形で  
発信しています。



#### Green prop 最新情報



#### メールマガジン「GREEN PROGRESS」

当社の出来事やコラムの更新、その他皆様へのお知らせなどを  
お届けするメールマガジンを配信しています。

配信登録はこちら



#### Green propの日常



#### 公式SNS

Green propの日常の一コマを切り取って、  
公式SNSでお伝えしております。

Facebook



Instagram



2024 - 2025



GREEN PROP

〒812-0016  
福岡県福岡市博多区博多駅南2丁目3番1-1号  
TEL：092-432-8507 / FAX：092-432-8508



# SUSTAINABLE REPORT

2024-2025

|              |    |
|--------------|----|
| 目次/編集方針/会社概要 | 1  |
| マネジメントメッセージ  | 2  |
| 特集           | 3  |
| 事業内容         | 5  |
| CSRマテリアリティ   | 7  |
| E・環境         | 9  |
| S・社会         | 11 |
| G・ガバナンス      | 13 |

## 会社概要

|        |                |        |                              |
|--------|----------------|--------|------------------------------|
| 商号     | 株式会社Green prop | 拠点     | 本社<br>福岡県福岡市博多区博多駅南2丁目3番1-1号 |
| 代表者    | 川添 憲二          | 東京支店   | 東京都港区芝4丁目13-12               |
| 設立     | 1985年          | 中国支店   | 広島県大竹市北栄4-12                 |
| 資本金    | 2,000万円        | 物流本部   | 福岡県筑紫野市大字永岡1315-10           |
| 従業員数   | 39名(2026年6月現在) | 大牟田出張所 | 福岡県大牟田市健老町472番地<br>大牟田エコタウン内 |
| グループ会社 | 株式会社ATGREEN    |        |                              |

## 編集方針

### 報告対象組織

株式会社Green prop

### 報告対象期間

2023年7月～2025年6月（※一部対象期間外を含む）

### 発行時期

2026年7月

### 参考ガイドライン

環境報告ガイドライン(2018年版)  
SDGコンパス

### お問合せ先

株式会社Green prop 担当：丸山  
〒812-0016  
福岡県福岡市博多区博多駅南2丁目3番1-1号  
フリーダイヤル：0120-52-0589  
E-Mail：info@greenprop.jp

## マネジメントメッセージ



代表取締役会長  
川添 克子

代表取締役社長  
川添 憲二

取締役  
森松 知昭

## CSRを経営の土台として ステークホルダーとともに 持続可能な未来を創っていく

近年、資源循環やサーキュラーエコノミーへの取り組みが加速し、廃棄物業界を取り巻く環境は大きく変化しています。動脈系企業の資源循環業界への参入、AIをはじめとしたデジタル技術の進展、法制度の整備、さらには社会構造の変化など、私たちが向き合う課題は年々多様化しています。

このような変化の中で、Green propもこれまでの歩みを見つめ直し、これからの企業としての役割を改めて考える一年となりました。こうした時代だからこそ、私たちが大切にしたいのは、お客様に寄り添い、ともに課題を解決する姿勢です。創業以来続けてきた収集運搬事業をはじめ、多様な現場で培ってきた知見を活かし、廃棄物管理や環境コンプライアンスの面から、お客様の事業を支える存在でありたいと考えています。目の前の課題だけでなく、その先にあるリスクや可能性まで見据え、お客様以上にお客様のことを考えること。それがGreen propらしい価値であり、これからも変わることのない原点です。そんな思いから、よりスピード良くお客様の課題解決に伴走するために、2024年には東京支店を開設し、現場や会社へ潜む産業廃棄物管理リスクを可視化する『産廃リスク診断』もリリースしました。

一方で、私たち自身も多くの課題と向き合っています。事業環境が大きく変化する中で、新たな事業のあり方や組織づくりを進めるとともに、社員一人ひとりが主体的に考え、行動できる組織へと進化していくことが求められています。

自律分散型の組織運営を進めて丸3年が経過しましたが、継続してきたからこそその課題も見えてきました。社員との対話を重ねながら目的を共有し、それぞれが担う役割を理解し合える組織づくりを、引き続き進めていきたいと考えています。

また、企業が持続的に成長していくためには、お客様との信頼関係だけでなく、地域社会とのつながりや、社員が安心して成長できる環境づくりも欠かせません。企業として何を大切にし、どのような価値を社会に提供していくのか。その考え方を共有し、日々の行動につなげていくことが、これからのGreen propにとってますます重要になると考えています。

私たちにとってCSRとは、社員一人ひとりが成長し、お客様や地域などのステークホルダーとの信頼を築き、責任ある行動と判断を日々積み重ねていくこと。その積み重ねが企業価値を高め、持続可能な社会の実現につながると考えています。だからこそCSRは、事業とは切り離された活動ではなく、Green propの経営を支える土台そのものです。ESGの観点から重要課題として設定している各テーマの活動を軸に、私たちが日々取り組むすべての活動は、この考え方の上に成り立っています。

Green propが目指しているのは、事業を通じて社会課題の解決に貢献し、ステークホルダーの皆様とともに持続可能な未来を創っていくことです。その実現のために、CSRを経営の土台として、人を育み、信頼を築き、新たな価値を生み出し続けていきます。これからもGreen propは、この想いを行動で示しながら、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



# 廃棄物事業

## 廃棄物に関するあらゆるお困りごとを解決

事業活動が続ける限り、廃棄物は必ず発生するものです。  
私たちGreen propは「持続可能な廃棄物処理」を追いつけています。

解決策まで無料で手に入る！

### 産廃リスク診断

産業廃棄物に関する法令を中心とした設問に答えていくことで、あなたの産業廃棄物管理リスクを可視化。適正処理に向けての解決策まで無料で提供します。

詳しくは5Pへ



診断で見つかったリスクにポイントで対処するなら

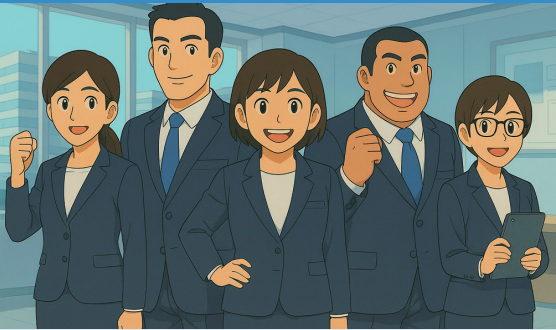
廃棄物管理を一括で任せるなら

### そのモヤモヤを専門家チームがスピード解決！ 産廃リスクバスターズ



産廃リスク診断で見たリスクを放置せず、徹底的に改善を支援。排出現場からデータ等の運用管理まで、廃棄物現場のあらゆるリスクを撲滅します。

### 忙しい責任者を産廃処理のオペレーションから解放！ 産廃ゼンブ



煩わしい廃棄物管理業務のオペレーションをアウトソーシング。貴社の廃棄物担当として、廃棄物処理に関わる手続きをゼンブ代行します。

### サステナブルデザイン・モット



廃棄物の適正処理からワンランクアップ。廃棄物という概念を取っ払い、資源として循環するサーキュラーシステムのデザインやより質の高いリサイクルフロー構築など、サステナブルに向けた戦略的な取り組みを伴走します。

### 廃棄物収集運搬



九州・中国エリアを中心に、関東圏の少量廃棄物も対応可能です。多様な品目の収集運搬に対応するために多様な車両を配備しており、お客様のご要望にお応えします。

# CSR経営サポート

## 「CSR経営」に取り組む企業のベストパートナー

Green propは30年以上、私たち自身がCSR経営を実践してきました。また、まだ社会事業という言葉もない時代から環境事業を行っており、その中で得た経験や実績を元にして、「世のため、人のため」の経営にシフトしたい企業や組織のリデザインをサポートしていきます。

STEP  
01

### 戦略：CSRコンサルティング

CSR経営を行っていくには、最初にしっかりとしたCSR方針やCSR目標・計画の策定を行い、その後にCSR推進体制の構築・強化が重要です。様々な業界に精通した経験豊富な専用スタッフが貴社のCSR基盤づくりを支援します。

- ビジョン・ブランドコンセプトの整理
- CSR方針とKPIの策定
- CSRマネジメント体制の整備
- 活動実施サポート



STEP  
02

### 体制構築：環境・CSR教育

CSRを実践していくのは、実際に働く社員一人ひとりです。CSRとは何か？という基礎教育から、社員の方々を牽引する推進者向け教育、その他必要なテーマに合わせた教育などのCSRカリキュラムを組み、社内でCSRが実践されていく基礎づくりをサポートします。

- CSR基礎教育
- CSR推進者向け教育
- 各テーマ別教育



STEP  
03

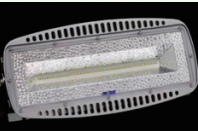
### レポート：CSRレポートの企画・制作

CSR経営では、企業の取り組みをいかにステークホルダーに伝え、評価を得るかが重要です。「何を、誰に、どうやって伝えるか？」「どのように評価の声を得るか？」の最適な提案を行い、適切なコミュニケーションプランとメディア活用による、「伝わるCSR」をサポートします。

- ターゲットの選定
- コンテンツの選定
- メディアの選定（CSRレポート/Webサイト/動画など）
- フィードバック手段の選定



### その他ソリューション



#### 省エネ設備導入

LED照明導入等による省エネを実現します。



#### カーボנקレジット

CO<sub>2</sub>排出について自らで削減できない分を、他の場所での排出削減・吸収量にてオフセットします。排出権クレジット創出もサポートします。



#### ライフサイクルアセスメント

製品やサービスの原料調達から廃棄に至る一生での環境に対する影響を定量的に評価します。



#### 環境ラベリング

エコリーフ、カーボン・フットプリント等のラベル認定、手続きなどをサポートします。



## 診断Webサービス 「産廃リスク診断」をOPENしました！



### 産廃リスク診断

現場や会社に潜む産廃リスクを無料で、簡単に診断できるWebサービス『産廃リスク診断』をリリースしました。

サイト上に表示される質問に「はい」「いいえ」で答えるだけで、自社の産廃リスクが可視化されます。法的義務事項に改善が生じる問題がある場合は「赤信号」、義務事項ではないが改善が推奨される項目があるときは「黄色信号」、法令に沿って管理し、リスク予防のための活動も進めている場合には「青信号」を表示し、直感的にリスクの度合いを感じてもらえます。また、詳しい対応策について解説した資料『産廃リスク診断 処方箋』も無料で進呈します。

産業廃棄物を排出する企業にとって、廃棄物処理法は決してわかりやすい法律ではありません。むしろ気づかぬうちに違反してしまう可能性もあるリスクの高い法律だと言えます。問題を早期に発見して対処する必要があるのですが、「勧告や摘発もなく、法令違反の問題はなく大丈夫であるはずだ」と、違反状態のまま活動を継続している企業は決して少なくありません。この診断サービスを通じて、まずは自社が抱えるリスク度合いを知っていただき、適正な廃棄物管理に向けての第一歩として活用してほしい。そんな想いから、産廃リスク診断を創りました。産業廃棄物管理の観点から持続可能な企業が増えていくことを願っています。みなさま、ぜひ診断を受けてみてください！



### 産廃リスク診断の流れ

#### 基本情報入力

業種や排出している廃棄物など、必要な基本情報を入力いただきます。

#### 診断設問回答

基本情報をもとに表示される設問に、今の状況を踏まえてご回答ください。

#### 診断結果

貴社のリスク状況をご案内します。ご要望の方は、リスク項目に関する解説や取り組みアドバイスをまとめた『産廃リスク処方箋』をダウンロードできます。

#### 診断項目

保管基準

廃棄物教育

多量排出事業者

処理基準

法令情報管理

マニフェスト

委託基準・契約

資源化

委託業者管理

### 解説セミナーも開催中！

産廃リスク診断の項目に合わせて、具体的に排出事業者が実施すべき事項について解説するセミナーも定期的に開催しています。「診断を受けたけど、何をしたらいいかわからない」「もっと詳しく知りたい」そんな方はセミナーも是非ご活用ください！

診断・セミナー情報



## 東京支店 「GREEN PROP SUSTAINA BUILDING」 を開設しました！



2024年4月、東京都港区芝・田町エリアに新しい拠点となる東京支店を開設しました。東京支店が入る〈GREEN PROP SUSTAINA BUILDING〉(通称：サスティナビル)は、私たちのビジョンである「持続可能な未来のために」を体現する空間になりました。

### 1F コミュニティスペース



サスティナブルをテーマに、業種の壁を超えた新たな出会いや発見が生まれる場所。私たちと同じようなビジョンをもち活動を行っている個人・企業・団体様に使っていただきながら、つながりをつくっていきたくと願っています。

### 2F ミーティングルーム



廃棄物処理や脱炭素、CSR経営のご相談はこちらのスペースでゆっくりじっくり行いましょう。その他、クラウドも活用しながら廃棄物管理を行うサービス「CHACHAT (チャチャット)」を体験していただくこともできます。

### 3F 東京支店オフィス



当社の廃棄物事業、CSR経営サポートを展開していくGreen propの東京支店としてのオフィス業務を行います。常時本社と接続しているテレプレゼンシステムも導入し、より連携してサービス展開していきます。

### Green propらしい、新しい拠点づくり

自律分散型の組織運営に移行して1年が経ち、より提供価値を最大化するために東京支店開設プロジェクトがスタートしました。プロジェクトのテーマとしていたのは、たくさんの人と関わりながら新しいGreen propをつくっていくこと。自律分散型組織に関心がある方とどんな拠点にしたいかディスカッションしたり、リノベーション工事分野ごとに多くの事業者様に携わっていただきながら進めていきました。そのおかげで、オープニングイベントには100人を超える方にご参加いただきました！

#### オープニングイベント



地域になる屋形船で開催したオープニングイベントでは、当社の歴史を「講談」という形でお伝えしました！

#### Facebook



プロジェクトの様子をFacebookグループで公開しながら進めていきました！

GREEN PROP



CSRマテリアリティ

持続可能な組織の実現には、CSR(企業の社会的責任)は必要不可欠なものです。自社のビジネス環境やステークホルダーの皆様からの期待や要望を考慮し、ESG(環境・社会・ガバナンス)の観点で重要課題(マテリアリティ)を特定し、CSRの道筋を定めて活動を実施しています。

Green propは、CSRを核とした経営を推進することで社会課題の解決という価値を提供し、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。

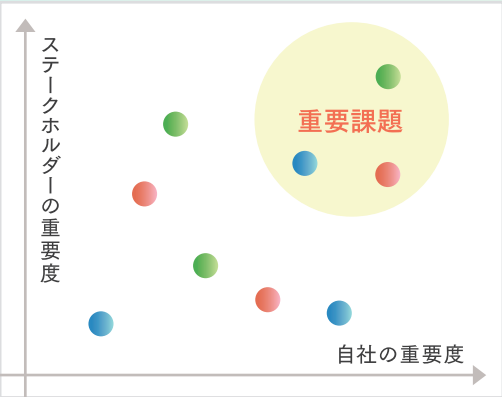


重要課題の特定プロセス

まず、ESGの観点から、社会課題の把握を行います。社内のESG課題はもちろん、SDGs(持続可能な開発目標)といったグローバルな課題についても把握・整理を行いました。

次に、整理した社会課題について、ビジネス環境を踏まえた上での「自社の重要度」、ステークホルダーからの期待や要望を加味した上での「ステークホルダーの重要度」を評価し、それぞれの重要度が高いものを「重要課題」として特定しています。

特定した重要課題は、解決に近づいているかを測るKPI(重要業績評価指標)を設定し、定期的にモニタリングしていきます。



CSR重要課題(マテリアリティ)とKPI

ENVIRONMENT 環境



| 重要課題  | KPI                 | 2023 年実績                  | 2024 年実績                  |
|-------|---------------------|---------------------------|---------------------------|
| 脱炭素社会 | CO <sub>2</sub> 排出量 | 1121.79 t-CO <sub>2</sub> | 1145.57 t-CO <sub>2</sub> |
|       | 売上あたり電気使用量          | 23.78 kWh/百万円             | 27.52 kWh/百万円             |
|       | 走行距離あたり軽油使用量        | 274.71 L/百km              | 276.23 L/百km              |
|       | 収集運搬車両平均燃費          | 4.46 km/L                 | 4.29 km/L                 |
|       | 太陽光発電量              | 1241549 kWh               | 1218508 kWh               |
| 資源利用  | 従業員1人あたり水使用量        | 5.42 m <sup>3</sup> /人    | 5.64 m <sup>3</sup> /人    |
|       | グリーン購入適合製品比率        | 22 %                      | 25 %                      |
| 廃棄物管理 | 従業員1人あたり一般廃棄物排出量    | 16.89 kg/人                | 16.52 kg/人                |
|       | 取扱廃棄物量              | 30199.61 t                | 41514.94 t                |

SOCIAL 社会



| 重要課題     | KPI          | 2023 年実績    | 2024 年実績    |
|----------|--------------|-------------|-------------|
| 安全衛生     | 事故・労災発生件数    | 2 件         | 5 件         |
|          | ドライブレコーダー平均点 | 79.2 点      | 77.7 点      |
| 地域コミュニティ | 地域活動参加・実施件数  | 10 件        | 16 件        |
|          | 環境・CSR教育実施件数 | 25 件        | 21 件        |
| 人財経営     | 従業員1人あたり売上高  | 37,829 千円/人 | 37,514 千円/人 |
|          | 平均年収         | 5,109 千円/人  | 8,074 千円/人  |
|          | 平均勤続年数       | 7.3 年       | 7.3 年       |

GOVERNANCE ガバナンス



| 重要課題      | KPI      | 2023 年実績 | 2024 年実績 |
|-----------|----------|----------|----------|
| 自律分散型組織運営 | 労働分配率    | 42 %     | 45 %     |
| 事業継続      | BCP策定と運用 | -        | BCP策定中   |



## 01 廃棄物管理Webサービス「CHACHAT」拡大中

「CHACHAT(チャチャット)」は、オンライン上に自社の廃棄物情報を集約し、ビデオ通話や各種電子サービスと複合化させることで非対面での廃棄物管理を可能にする、当社独自の廃棄物管理Webサービスです。

複数拠点や複数種類の産業廃棄物を排出しているお客様を中心に導入が拡大しています。工事会社様では全国エリアで多くの排出現場の廃棄物管理が必要な中で、一元的な管理ができるCHACHATをお選びいただきました。

今後も機能やサポート等をさらに充実させ多くの皆様にご利用いただき、排出事業者様の適正な廃棄物管理に貢献できるよう精進してまいります。

## 02 収集運搬におけるカーボン・オフセットの実施

当社ではScope1・2領域におけるCO<sub>2</sub>排出量をモニタリングしており、排出量の97％は収集運搬車両の軽油使用によるものです。エコドライブの推進や車両の燃費管理による使用量の適正化に取り組んでいます。

更なる取り組みとして、収集運搬車両走行に伴って排出されたCO<sub>2</sub>排出量の一部をカーボン・オフセットしています。

オフセット量は年間CO<sub>2</sub>排出量の約10％に当たる110t-CO<sub>2</sub>になります。

カーボン・オフセットを実施することで、脱炭素社会への貢献を推進していきます。

## 03 エコアクション21での環境マネジメント

当社の展開している廃棄物事業・CSR経営サポート事業は、環境側面でマイナスの影響もあれば、プラスの影響もあります。この影響と、経営における課題・チャンスを捉えた上で、環境経営方針・環境経営目標を設定し、環境マネジメントを行っています。

2024年に開設した東京支店は、開設当初より活動を開始し、エコアクションの対象事業所も拡大して認証を受けました。長年の環境マネジメント活動は着実に定着しております。今後も日常業務に沿ったマネジメントを継続していきます。

廃棄物管理 ▶▶

電設工事会社様

全国エリアの  
工事廃棄物を  
管理するのが大変…

年間約**500**現場  
**47**都道府県

✓ 全国の廃棄物発生状況を  
一元管理可能に！

✓ 現場・契約・会計など複数担当者様の  
管理業務時間を短縮！

脱炭素社会 ▶▶

カーボン・オフセットとは？

排出されるCO<sub>2</sub>のうち、自分たちでどうしても削減できない排出量の全部または一部に関して、他の場所での排出削減・吸収量によって埋め合わせ(オフセット)することです。

エコアクション21  
対象範囲  
(認証・登録範囲)

エコアクション21  
認証番号：0012896

〔対象事業所〕

本社/物流本部/中国支店/東京支店

〔事業活動〕

産業廃棄物収集運搬業  
一般貨物自動車運送業

特別管理産業廃棄物収集運搬業  
環境コンサルタント業

## マテリアルバランス

### INPUT

| 年度   | エネルギー     |          |         |                      | 資材等        |
|------|-----------|----------|---------|----------------------|------------|
|      | 電気        | 軽油       | ガソリン    | 水                    | アドブルー      |
| 2023 | 34948 kWh | 419477 ℓ | 11459 ℓ | 200.5 m <sup>3</sup> | 10948.63 ℓ |
| 2024 | 42633 kWh | 435801 ℓ | 9307 ℓ  | 225.5 m <sup>3</sup> | 13909.12 ℓ |



廃棄物事業

CSR  
経営サポート

| 廃棄物収集運搬量 | 2023年度     | 2024年度     |
|----------|------------|------------|
|          | 72879.09 t | 69455.23 t |

| 産業廃棄物    | 2023年度     | 2024年度     | 特別管理産業廃棄物 | 2023年度     | 2024年度     |
|----------|------------|------------|-----------|------------|------------|
| 燃え殻      | 852.07 t   | 631.19 t   | 引火性廃油     | 134.63 t   | 96.05 t    |
| 汚泥       | 2609.85 t  | 2601.38 t  | 引火性廃油(有害) | 0 t        | 58.47 t    |
| 廃油       | 152.33 t   | 136.71 t   | 強酸        | 5.21 t     | 4.07 t     |
| 廃酸       | 847.67 t   | 390.69 t   | 強酸(有害)    | 0 t        | 2.09 t     |
| 廃アルカリ    | 685.88 t   | 782.98 t   | 強アルカリ     | 0.01 t     | 0.11 t     |
| 廃プラスチック類 | 670.76 t   | 493.38 t   | 強アルカリ(有害) | 0 t        | 0 t        |
| 紙くず      | 22.88 t    | 16.50 t    | 感染性廃棄物    | 174.78 t   | 208.27 t   |
| 木くず      | 316.48 t   | 288.12 t   | 廃石綿等      | 279.92 t   | 65.88 t    |
| 動植物性残さ   | 175.98 t   | 147.79 t   | 鉱さい(有害)   | 0 t        | 0 t        |
| 金属くず     | 184.70 t   | 180.58 t   | 燃え殻(有害)   | 0 t        | 0 t        |
| ガラスくず等   | 122.84 t   | 179.43 t   | 廃油(有害)    | 0.01 t     | 90.26 t    |
| 鉱さい      | 0 t        | 0 t        | 汚泥(有害)    | 0.01 t     | 2.40 t     |
| がれき類     | 202.20 t   | 177.06 t   | 廃酸(有害)    | 0.02 t     | 0.02 t     |
| ばいじん     | 45385.07 t | 43797.72 t | 廃アルカリ(有害) | 0.08 t     | 0.71 t     |
| 13号廃棄物   | 0 t        | 0 t        | ばいじん(有害)  | 92.10 t    | 213.16 t   |
| 混合廃棄物    | 1343.62 t  | 914.37 t   | 計         | 686.77 t   | 741.49 t   |
| 計        | 53572.34 t | 50737.90 t | 自治体委託・その他 | 18619.98 t | 17975.84 t |

### OUTPUT

| 年度   | CO <sub>2</sub> 排出量※      | 一般廃棄物排出量  | 産業廃棄物排出量  |
|------|---------------------------|-----------|-----------|
| 2023 | 1121.79 t-CO <sub>2</sub> | 622.3 kg  | 851 kg    |
| 2024 | 1145.57 t-CO <sub>2</sub> | 660.70 kg | 6366.5 kg |

※ エネルギー等起源のCO<sub>2</sub>排出量を対象とし、温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度にて公表されている係数を使用  
電気使用量におけるCO<sub>2</sub>排出量算定に使用している排出係数は以下の通り

【本社/物流本部】 五島市民電力 調整後排出係数 0.332kg-CO<sub>2</sub>/kWh 【中国支店】 中国電力 調整後排出係数 0.536kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
【物流本部・洗車設備】 九州電力 調整後排出係数 0.382kg-CO<sub>2</sub>/kWh 【東京支店】 東京電力エナジーパートナー 0.451kg-CO<sub>2</sub>/kWh

(温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度「電気事業者別排出係数 -R3年度実績- R5.1.24 環境省・経済産業省公表」参照)



## 01 定期安全教育 「安全の日」開催

2019年に発生した火災事故を風化させず、安全を最優先した事業運営を行っていくために、毎年3月に「安全の日」と題して拠点ごとに安全教育を行っています。（中国支店は運行の関係上、毎年11月に実施しています。）

担当する事業や業務とチームの状況に合わせたプログラムを企画し、外部のステークホルダーとも連携しながら開催しています。今後も毎年開催し、全社員で安全な職場環境づくりを行ってまいります。

安全衛生 ▶▶



本社・東京支店



契約外廃棄物取扱い、火災や車両事故等の緊急事態対応手順の確認と、情報セキュリティの基本を共有。避難はしごの設置操作を行いました。拠点ごとのハザードマップや各種緊急連絡網を再確認を行い、東京支店では近隣の避難先までの経路確認も行いました。

物流本部



過去ドライブレコーダ記録を用いて危険予知（KY）予測を実施し、車両の故障やパンク、廃棄物の飛散・漏洩など収集運搬作業での緊急事態対応手順の確認と、各種緊急連絡網の再確認、連絡デモンストレーションを行いました。

中国支店



トラック運送における関連法規や日常点検、運行管理、トラックの構造や特性などの基礎を学びました。シュミレーターを使っでの運転者適性診断も行い、運転の時のクセや性格、判断能力等を把握し安全運転につなげる教育を実施しました。

## 02 サスティナ勉強会の開催

廃棄物業界で共に働く仲間、特に業界内で従事している人がまだ少ない女性と共に、業界や所属する会社のサスティナビリティ（持続可能性）を考えていく「サスティナ勉強会」を2023年11月より開催しています。

毎回、ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点からテーマを設定し、参加者同志のディスカッションやコミュニケーションを中心としたプログラムで構成しています。全国各地から参加いただき、これまでで延べ100名を超える参加者数となりました。

廃棄物処理は社会インフラの一つです。業界全体で持続可能性が高められるように、共に成長していきたいと思ひます。

人財経営/  
地域コミュニティ ▶▶



## 03 九州大学BeCAT様 サーキュラーデザインプログラムで協働

九州大学BeCAT様は、持続可能な世界を実現するための新しい建築と都市のあり方を提示するをミッションとして掲げ、企業や自治体を連携しながら多様な社会課題を解決することを目指しています。

当社ではBeCAT様の理念や想いに共感し、2024年度プログラムにて廃材利用の可能性やサーキュラーデザインについてを共に考えていきました。協力会社にもお力添えいただき、解体現場の視察やディスカッションを重ね、建築におけるサーキュラーエコノミーの可能性を探っていきました。学生の皆様の研究発表にも参加させていただき、新しい廃棄物活用の可能性が見えて、当社も大変勉強になりました。本業を通じた次世代の育成等にも力を入れていきます。

地域コミュニティ ▶▶



## 04 持続可能な未来のための活動に 博多本社・東京支店を解放

当社のブランドコンセプト「For Sustainable Tomorrows -持続可能な未来のために」に共感いただき、同じようなビジョンを持ち活動されている企業・個人・団体に、博多本社と東京支店のスペースをお貸ししております。

これまでに、廃棄予定の家具をリメイクした家具の展示販売会や、同じく廃棄される規格外等のお花を使ったアップサイクルワークショップ等を開催しました。地域の方や環境課題に関心をお持ちの方など、たくさんの方に足を運んでいただきました。

ステークホルダーの皆様に活動に触れていただくことで、新たなきっかけや繋がりをつくっていきけるよう、今後も継続して活動を行っていきます。

地域コミュニティ ▶▶



## 05 年末餅つき大会の開催

博多本社では、毎年仕事納めの日にステークホルダーの皆様に一年の感謝をお伝える機会として、年末餅つき大会を開催しています。

当日は杵と臼で餅をつき、つくたてのお餅を食べて、一年の振り返りと来年の抱負を語っています。お客様、協力会社様、地域の皆様、Green propと繋がりのある皆様、社員のご家族などが集まり、貴重なコミュニケーションの機会となっております。

当社はステークホルダーの皆様との繋がりや連携、活動にご理解いただくことで成り立っております。これからも直接お会いしてのコミュニケーションを大切にしていきます。

地域コミュニティ ▶▶





## 01 自律分散型の組織運営

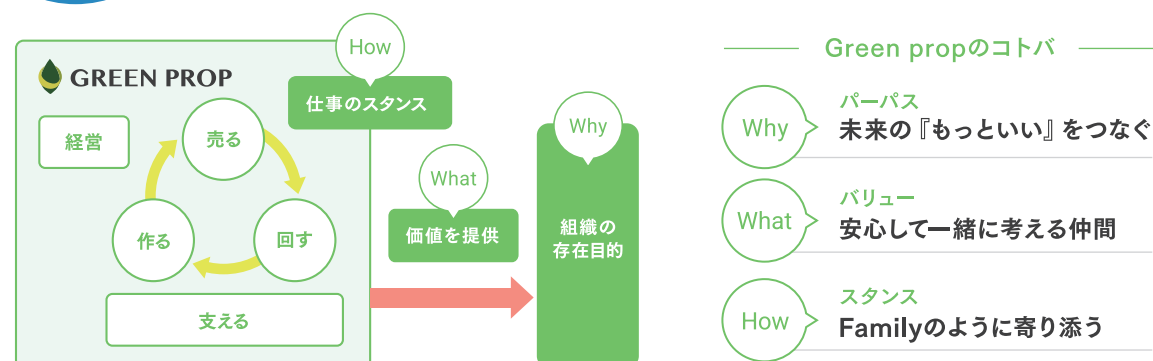
当社では、2022年7月より自律分散型の組織運営を行っています。大きく、組織構造と会計構造の2つに変革を行い、個々が自主経営して事業を運営していくことで、Green propの提供価値の最大化と社員が自分を大切にしながら仕事ができることの実現を目指しています。

### 自律分散型組織運営 ▶▶



### 特徴1 組織構造

当社の存在目的 (Why)、組織活動を通して社会やお客様に提供する価値 (What)、そのために大切にしている姿勢や想いなどの仕事のスタンス (How) を明文化し、それを実現していくために業務目的ごとにチームを編成しています。チームの中も組織全体でも、上下関係はありません。一人一人が主体的に考え行動していくために、各チームの運営情報や会計・財務情報を全社員へオープンにし、誰でも意志決定ができる助言プロセスというルールを設けました。



### ◆ 組織情報の見える化

各種ツールを導入し、全チームの運営情報や会計・財務情報に社員がいつでもアクセスできる環境を整えています。関わる事業の運営やお金の使い方を考える材料となっています。

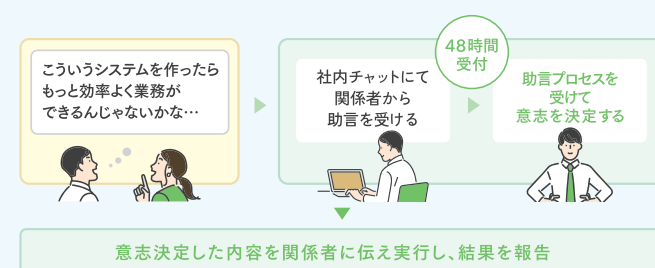


社内の連絡をチャットに変えたことで全チームのやり取りが見える化

経理しか把握していなかった会社のお財布事情が社員全員閲覧可能に

### ◆ 助言プロセス

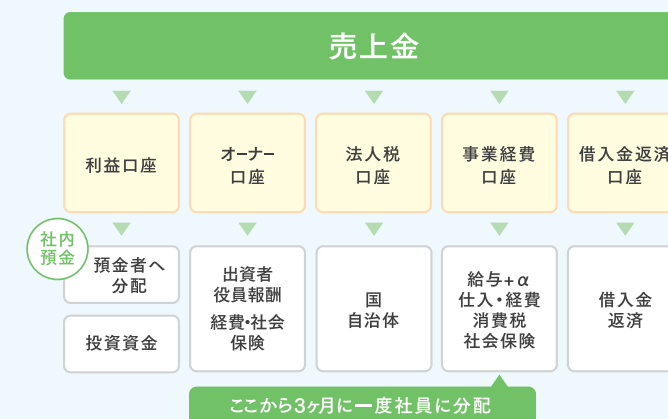
業務目的を果たしていくために必要な課題解決について、誰でもどんな内容でも発案し決定ができる制度です。発案した後は、関係者から48時間の助言期間を設けます。助言は、賛成や反対などの意見などがありますが、発案者は助言を受け入れる必要はありません。真摯に受け止めた上で、最終意志決定を行い実行。その結果はきちんと報告を行います。



### 特徴2 会計構造

新しい組織運営の仕組みと合わせて、お金を管理する仕組みも進化しました。経理担当と役員のみが把握していた会社のお金は、社員ひとりひとりに任せられる仕組みとなり、それぞれのチームや個人のお金の使い方が会社のお財布の増減に直結していきます。

経費や人件費を差し引いた額を利益とするのではなく、先に利益を確定しておいて残りのお金で会社を運営していくという、今までとは逆の考え方になりました。また、社員が会社に預金できる社内預金制度を新設し、更なる分配をもらえる仕組みもできています。



## 3年経過した結果・感じたこと

### 経営者

- 意志決定のスピードが格段に上がっている
- 「みんなで経営している」と感じる場面が増えてきた
- 各メンバーが自分で考え行動し、共に支え合いながら成長し、変化に柔軟に対応している姿が頼もしい

### スタッフ

- 事業運営における自分の役割や何で貢献しているのか、わかりやすくなった
- お金の見方、考え方、使い方など、より意味を考えるようになった
- 提供価値を最大化する活動に集中できるようになった

### 3年目の結果

|              |          |
|--------------|----------|
| 助言プロセスでの意志決定 | 73件      |
| 売上高          | 56.7% UP |
| 一人あたり給与・賞与   | 87.1% UP |
| 諸経費          | 9.6% UP  |

[ 割合: 自律分散型組織移行前比 ]

## 02 BCP(事業継続計画)の策定

### 事業継続 ▶▶

BCPとは、自然災害など有事の際に事業資産の存在を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続や早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や事業継続のための方法・手段等を取り決めておく計画のことです。

拠点地域のハザードマップを基にした災害想定、あらゆる経営指標や事業別の現状も踏まえた中核事業の設定、平常時の対策活動と有事が発生した場合の手順書等の整備を順次進めております。2024年の東京支店開設に伴い、対象範囲を拡大しての策定に計画を変更し策定を進めています。

完成後はスタッフみんなでの運用に努めてまいります。

